

令和 4 年第 4 回議会定例会あいさつ

本日ここに、令和 4 年第 4 回高森町議会定例会をお願いしましたところ、議員各位におかれましては、年末のお忙しいところご出席いただき、誠にありがとうございます。

早朝に行われたサッカーの 2022FIFA ワールドカップでは、日本代表がスペインに逆転勝利、優勝経験のある強豪 2 チームを有するグループ E を首位通過し、決勝トーナメントに進みました。激闘を制し、日本中に感動を与えてくれた代表選手の皆さんにエールを送り、決勝トーナメントでも必ずやチーム一丸で勝利をもぎ取ってくれると信じ応援したいと思います。

(市田柿の日)

師走に入り朝晩の寒さが厳しくなってきましたが、高森町特産の「市田柿」は、いよいよシーズンを迎えています。

昨日 12 月 1 日は、高森町が発祥の干し柿「市田柿の日」でした。

高森南小学校 4 年 1 組は、今年度市田柿の学習を行い昨日ショッピングセンターパースで「市田柿」の PR 活動を行い、学習の成果を 6 枚の模造紙にまとめ、通る皆さんに説明をしてくれました。この展示は校内での発表の後、12 月中旬から中央公民館で行いますので、町民の皆さまもぜひご覧いただければと思います。

(物価高騰支援策)

内閣府の月例経済報告によると、日本経済の状況は「景気は、緩やかに持ち直している」とし、先行きについては、「感染症対策により社会経済活動の正常化が進む。また、各種施策の効果もあり景気が持ち直していくことが期待される。」としていますが、その一方で「世界的な金融引締等を背景とした海外景気の下振れが、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。」とし、「物価上昇による家計や企業への影響や供給面での制約等に十分注意する必要がある。」としています。

町ではこれまで物価高騰対策として、事業者の皆さまなどが支払った電気、ガス、燃料代の 3 ヶ月分の 10%相当額を補助し、237 件 23,975 千円を交付しました。

続けて農業、畜産を営まれている皆さまへ、肥料代及び飼料代への支援を行い、10 月 28 日現在、肥料代 159 件 8,923 千円を、飼料代 5 件 2,110 千円を交付しています。

さらに、町民の皆さまや事業者の皆さまを支援するため、高森町水道条例第 37 条の規定により、官公庁を除く上水道を利用している世帯及び事業者 5,001 件を対象に、水道料金を 9 月請求分から 3 ヶ月間一月一律 1,100 円総額 14,980 千円を減額してい

ます。

しかし、物価高騰はしばらく収まる気配が見込めないため、11月に臨時会において補正予算をお認めいただき、町民の皆さまの日々の暮らしへの支援として、また、新型コロナで影響を受けている事業者の支援も兼ねて『高森町生活応援商品券』の準備を進め、計4,607世帯、12,899人に1,000千円の商品券を一人当たり5枚、計5,000円分の商品券を11月内に郵送しました。現在この事業に、町内129の店舗、事業所、飲食店やタクシー事業者が参加をしています。12月1日から来年1月31日まで使用いただきますので、多くの店舗で、期限内のご利用をお願いいたします。

また、今定例会には追加の事業所支援の補正予算案も計上しています。

（新型コロナウイルス感染症の状況）

新型コロナウイルス感染症は第8波の拡大期に入り、全国的にも感染拡大が顕著な長野県では、多い日には一日あたりの感染者が3,000人を超え、65歳以上の高齢者を中心に連日数名の死者が報告されています。南信州圏域の11月30日までの感染者数の累計は24,144人、南信の確保病床使用率は68.1%です。

すでに長野県が発出した医療非常事態宣言下での感染拡大防止策が取られてはいますが、発熱外来など地域医療の負担は大きくなっています。町では医療機関の負担軽減を目的に、症状のある方が簡易検査キットで自分の状態を把握できるよう、国が承認している抗原簡易検査キットの配布を行っています。発熱やのどの違和感など、症状がある時に使用いただき、自宅での経過観察や医療機関の受診判断に活用下さい。なお、町では1世帯あたりの配布上限を設けていますが、検査キットは薬局でも購入できます。発熱時の備えとしてご準備いただきたいと思います。

新型コロナウイルスのワクチン接種は、2回目接種が終了し直近の接種から3ヶ月を経過した方を対象に、オミクロン株対応2価ワクチンの接種を進めています。11月27日時点で高森町では全住民の24.9%の方が2価ワクチンを接種されています。同日の国全体の接種率15.5%と比較すれば接種が進んでいますが、年末年始は人の移動が多くなります。感染に備えて、接種をご検討いただきたいと思います。

また、今期は新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行も懸念されています。高齢者のインフルエンザワクチン接種は、これまで通り自己負担2,000円です。ですので、早めの接種をお願いします。また、子どもをお持ちのご家庭での感染症対策の取組みは多様であることを踏まえ、中学3年生以下の児童の保護者に、子ども一人あたり2,000円を給付します。各家庭の事情に合わせた子どもの感染防止対策に活用いただきたいと思います。

冬季を迎え、ワクチン接種を含む一人ひとりの感染防止対策の取組みが、社会全体の感染拡大防止と社会経済活動の維持に繋がります。町民の皆さまにはワクチン接種

を含めた感染防止対策を行いながら、社会経済活動をお願いします。

（地域人材教育）

町では、成長過程に応じた体系的な地域人材教育の取組みを小中学校と一緒に進めています。

中学3年生では、今年度7つのコースで実施し、地域の皆さま、各種団体の皆さまのご協力により活動が進み、11月10日の参観日で活動発表会を実施、11月19日のまると収穫祭では作品や活動の様子を展示し、夜間には、竹灯籠班によるライトアップで盛り上げていただきました。

11月5日に流しそうめん班を中心に中学3年全体で行った「流しそうめんギネス記録に挑戦！」は、秋晴れで紅葉が盛りの不動滝から、皆さんの想いを繋いだそうめん157gが3,514.42m先のゴールまで流れ、見事ギネス世界記録に認定されました。竹の切り出し、加工作業、レーン組立てなどの準備作業や当日の運営に関わっていただきました全ての皆さまに、この場をお借りし心より感謝申し上げます。作業を始めた頃は、生徒たちの行動に対し、地域の方から様々なご意見をいただくこともありましたが、この作業に本気で関わってくれる地域の大人たちの姿は、充分子どもたちに伝わり、子どもたちから「地域の皆さんのおかげ」「地域の協力がなければ達成できなかった」など感謝のメッセージを寄せていただき、その一部を広報「たかもり」12月号に掲載しています。

この学年は、入学当初から新型コロナの影響を受け、行政も教育現場も手探りの状況の中で休校や学校活動の制限、自粛が続き、3年間を通じて一番影響を受けた生徒たちです。しかし、こうした地域の皆さんの関りが、子どもたちを大きく育てていただいたと思っています。改めて、関係の皆さまに感謝申し上げますとともに、今後も地域人材教育へ、ご理解とご協力をお願いいたします。

（まちづくり懇談会）

今年度のまちづくり懇談会は5月27日にスタートし、10月と11月を中心に開催を重ね、計21地区、延べ22回を実施しました。参加者数は430人で、昨年度425人に対して微増となりました。コロナ禍で出席に慎重な方も多かったと考えられますが、ご参加いただいた皆さまをはじめ、会場の手配や参加の呼びかけなど運営全般に関わっていただいた、区、地区、自治会の皆さまのご協力に感謝申し上げます。

本年度は、各区、地区、自治会で希望の日程やテーマなどを考えていただくオーダーメイド方式とさせていただきました。テーマとしては、自治組織に関すること、地区の防災、山吹下段の開発整備に関することなどが多くの地区で設定されました。

昨年懇談会で、地域の将来についてのワークショップを行ったこともあり、地域

の課題に対し、将来に向けた前向きな意見が多く寄せられる地区が増え、町としてはこうしたご意見が少しでも実現できるよう、地域の皆さんと一緒にまちづくりを進めたいと思っています。

一方、自治組織の未加入や脱退、役員や共同作業の負担に関する意見も多く交わされました。現在、この自治組織の課題や地区計画及び河川清掃に関して、区長会と協議中です。自治組織に関しては極めて難しい課題ですが、先進的に取り組んでいる事例なども共有しつつ、前進への糸口を模索したいと思います。

（高森まると収穫祭）

2019 年以来 3 年ぶりの「高森まると収穫祭 2022」は、晴天に恵まれ、11 月 19 日土曜日に、夜間も含む一日開催で、盛大に開催することができました。ご尽力いただきました実行委員会の皆さま、そして出店や展示などで盛り上げていただいた多くの事業者や団体の皆さま、更にはご来場くださった皆さまに、心から感謝申し上げます。実行委員会では、新型コロナ禍のため中止となった昨年から 2 年越しで温めてきた斬新で魅力的な企画の数々を成し遂げられました。夕刻から夜間にかけて、高森町の四季の魅力を綴った美しいプロジェクションマッピング、中学生 3 年生の竹と光のアートとの競演、そしてフィナーレの花火に、会場全体が「やってよかった」「来てよかった」という感動と満足感に包まれました。今回、久しぶりの成功体験と共に、運営上の課題や反省などもしっかりと総括した上で、来年度の開催に向けた準備を進めますので、様々な立場からのご意見やご提言をお願い致します。

（保育園の改修事業）

社会福祉法人萱垣会が進める「新みつば保育園」は、地域の皆さまから園名を募集し「高森あかり保育園」と決定しました。11 月 24 日には上棟式が行われ、みつば保育園の園児の皆さんもお餅投げに参加させていただきました。年明け 4 月の開園に向け、園舎及び今年度予定した周辺道路整備は、年度内の完成に向け順調に進んでいます。引続き、周辺の皆さまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

下市田保育園の大規模改修は、子ども子育て会議の検討結果を受け、7 月以降下市田保育園の保護者会役員の皆さまとの話し合い、保護者の皆さまへ改修計画とともに現在地が土砂災害の地滑り警戒区域（イエローゾーン）であることを踏まえ、避難計画などをお示ししながら説明会を実施、その後現地改修の可否等も含め保護者へアンケート調査を行い、その結果に基づき、全体の方針として現地での大規模改修、改修時期は令和 6 年度、改修時の移転先園舎をみつば保育園とする方向付けを行いました。11 月 28 日には下市田区で説明会を行い、現在下市田区としてのご意見を伺っています。

す。今後も保護者や地域の皆さまのご意見をお聞きしながら、必要な手続きを進めます。

（山吹ほたるパーク周辺整備事業）

山吹ほたるパーク周辺整備事業は、10月16日にクラブハウス、人工芝サッカー場予定地の現地見学と体験会を開催し、町内外から300人以上の皆さまに見学いただきました。当日は、県内で活躍しているプロチーム、松本山雅によるサッカー教室、信州松本ダイナブラックスによる3×3の体験会、VC長野トライデントによる焼き芋大会なども実施し、完成後のイメージを膨らませていただくとともに、多くの皆さまに期待を寄せていただくことができました。

高森町スポーツ拠点施設クラブハウス改修工事は、11月末現在で約30%の進捗状況です。また、多目的広場等整備工事も、11月の臨時議会において契約締結の可決をいただきましたので、現在屋外ステージの基礎工事に着手しています。

（天竜川かわまちづくり事業）

天竜川高森かわまちづくり事業は、天竜川の管理者である国土交通省、南信州広域連合飯田広域消防本部、指定管理の担い手となり得る株式会社のみもの、町の関係機関4者による調整会議を行いながら、基本構想の原案を作成しています。こうした情報は「かわまちづくり協議会」に共有しつつ、9月28日には協議会の皆さまで、岐阜県美濃加茂市の木曽川で実施している先進地視察を行いました。また、11月29日30日には株式会社のみものを中心となり、サイクリングや外でのアクティビティなどの社会実験を行っていきます。この事業に関しては、小中学校でも地域人材教育の一環として、将来構想などの研究をしています。子どもたちの将来に対する夢も反映しながら、年度内には基本構想を公表する予定です。

併せて、国に対し、天竜川流域治水のための河川防災ステーションへの登録申請を令和4年度内に行います。

（下市田産業用地整備事業）

昨年7月より進めてきた下市田産業用地整備事業は、大鹿村内と飯田市内のリニア中央新幹線トンネル工事で発生した発生土を活用し造成工事を行い、11月中に完了、現在最終の地質調査を行っており、今月中に完成の見込みとなりました。この間、地域の皆さま、運搬経路沿道の皆さまには大変ご迷惑をおかけしましたが、ご理解とご協力に改めて感謝を申し上げます。

今後この用地は、リニア中央新幹線の軌道ともいえるガイドウェイの製作、保管ヤードとしてJR東海が利用します。この工事説明会を12月6日に予定しており、ご理

解をいただいた後、来月から工事を始める予定です。引続き、長野県のリニア整備推進局や JR 東海リニア中央新幹線長野工事事務所などと情報を共有し、安全に留意しつつ管理に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

（マイナンバーカードの申請について）

マイナンバー制度は、行政を効率化し、国民の利便性を高め公平公正な社会の実現を目的としています。ご承知のとおり、国では、現行の健康保険証を 2024 年秋に廃止し、全てマイナンバーカードと一体化する方針を示しています。その他、マイナンバーカードは、本人身分証や自治体サービス、電子証明書を利用した電子申請、各種証明書のコンビニ取得など、今後行政手続きには欠かせないものとなってきます。

町では現在、町内 4 郵便局で住民票写しなど証明書の交付を行ってきましたが、コンビニ交付等の環境が整ったことに伴い利用者が減少していること、さらに、令和 5 年度から郵便局との契約単価が大きく改定されることを踏まえ、令和 5 年 3 月 31 日をもって郵便局での証明書交付を終了することとしました。今までご利用されてきた皆さまにはご迷惑をおかけしますが、今後については、役場又は山吹支所、コンビニ交付のご利用をお願いします。

しかし、前段でも述べたとおり、コンビニ交付を利用するためにはマイナンバーカードが必要です。

10 月末時点の国全体のカード交付率は 51.1%、高森町は 53.0%です。国は、カード取得を推進するため、最大 20,000 円分のポイントがもらえるマイナポイント第 2 弾を 12 月末申請分まで延長しています。町でもカード作成が困難な方への対応なども含め、カード作成支援を充実するため 11 月、12 月をマイナンバーカード交付強化月間とし、休日の臨時窓口開設日と時間を拡大、年末 12 月 29 日、30 日の午前中にも臨時窓口を開設します。マイナンバーカードの申請手続きのほか、すでにマイナンバーカードをお持ちの方のマイナポイントの申請手続きもお手伝いします。

ぜひこの機会にマイナンバーカードの作成をお願いします。

（南信州環境メッセ 2022）

昨年度に続き 2 回目となる南信州環境メッセ 2022 が、11 月 5 日、6 日の 2 日間エスバードにおいて開催され、昨年度より 800 人以上多い 2,163 人の皆さまが来場されました。町内外において改めて環境について考える大切な機会となったと思います。足を運んでいただいた皆さまに感謝申し上げます。

（高森町音楽祭 Hi-Forest ミュージックフェスタ 2022）

高森町の新たな文化事業として、「歌・合唱」「吹奏楽」を二つの柱に、一流の演奏

を聴き、一緒にステージを創り上げていく、みんなで育てる音楽祭「高森町音楽祭 Hi-Forest ミュージックフェスタ 2022」を9月15日～17日に開催しました。

高森中学校体育館で行ったメインコンサート当日は、230名の皆さんがソプラノ歌手小林沙羅さんとフルート奏者上野星矢さんの研ぎ澄まされた歌声や演奏、また中学校吹奏楽部との共演による音色、地域の皆さまにも参加いただいた音楽祭特別合唱団との響き合う歌声に心を和ませ、大きな拍手が沸き上がりました。

今年度は長野県の地域発元気づくり支援金を活用して実施しましたが、町の新たな魅力発信のイベントのなり得るかの検証を行い、来年度以降も継続して実施できるか研究します。

（幹線道路工事の進捗状況）

町道 I -1 号線吉田から下市田につきましては、設計及び吉田側の用地補償が概ね完了したことから、令和5年度から城岸橋架替工事に着手する予定です。

南信州フルーツライン宮沢川橋補修工事は、年内に完了します。

町道 I -3 号線上市田歩道設置工事は、工事期間に4年という長い時間を費やし、通行に大変ご迷惑をおかけしましたが、こちらも年内に完成します。

令和5年度地区計画策定事業は、各地域の皆さまにご協力いただきヒアリング調査が終わり、新年度の事業化に向けた積み上げ作業に入っています。

（町税の収納状況）

令和4年度10月末現在の町税現年度分の収納状況は、調定額1,408,740千円に対し、収入額850,660千円で、徴収率60.4%です。前年同月に対し1.0%の増です。

（第7次まちづくりプランと評価、令和5年度予算編成）

令和5年度は、「なりたいあなたに会えるまち」を目指す第7次まちづくりプランの4年目となります。これまで、8月の公開評価を含むまちづくりプラン推進委員の評価、9月議会での決算審査、11月中旬までの執行に基づく令和4年度中間評価等を経て、全ての施策ごとに課題設定と方針の見直しを行っています。

11月29日には予算編成方針会議を実施し、①第7次まちづくりプランの推進、②町長公約の反映、③ウィズコロナ・ポストコロナへの取組みの推進、④効率的で効果的な行財政経営の実施、⑤町民起点と積極的な情報公開の実施、以上5項目を基軸とする来年度の予算編成方針を職員間で共有しました。

当地域は、高速交通網の整備が着々と進められる一方、人口減少、少子高齢化が進むなど、先行きが見通せない状況もありますが、積極的なまちづくりが求められています。そのような中であっても、私の公約の最重点である「地域に根差した人材育成」

を加速するため、新年度予算編成にあたり、地域の魅力と地域づくりの発信として挙げた「ビジターセンター(仮称)」や熱中小学校の更なる活用について検討し、地域活性化のための新たな人材の活用を進めます。来年4月に向け、より直接的に地域活性化にあたっていただく外部人材として、総務省地域力創造アドバイザーをお願いするほか、地域おこし協力隊員と地域活性化企業人を登用する予定です。外からの視点も活かしながら、当面は、新たな観光協会の運営や熱中小学校の活用、ふるさと納税返礼品の掘り起しなどを展開しつつ、高森町や南信州地域の知名度アップや魅力発信にチャレンジします。

ハード面では、サッカー場の整備、中央線城岸橋の架替えに着手し、かわまちづくり事業、下市田保育園、福祉センター等の改修計画を具体化するなど、引続きまちづくりに重要な事業を予定しています。

2月には6回目の予算の公開査定も予定していますので、議員はじめ町民の皆さまには、ぜひ予算編成にご注目いただき、ご理解をたまわりますようお願いいたします。

さて、本定例会には、条例案件5件、契約案件2件、補正予算案件7件を上程しています。

議案第74号 議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例、議案第75号 特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例、議案第76号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例は、人事院及び長野県人事委員会の給与勧告に伴い、一般職にあっては月額給料表と勤勉手当を、議会議員を含む特別職にあっては期末手当を、それぞれ勧告と同じまたは同水準に増額するものです。

議案第77号 職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等条例、議案第78号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例は、それぞれ国家公務員と同様に地方公務員の定年延長が制度化されたため、これに係る諸条例を改正するものです。これにより、現在60歳の定年は、令和5年度より段階的に2ヵ年度に1歳ずつ65歳まで引き上げられます。併せて、課長等の管理監督職は原則として60歳に達する年度までとする役職定年制や、定年延長後は60歳到達年度の7割水準に給料を引下げるなど、何れも標準的な制度と同じ内容とします。なお、議案第77号は、職員の定年等に関する条例以下の計8条例を同一の目的で改正しつつ1条例の廃止を一括して定めています。

議案第80号 令和4年度地方創生道整備推進交付金事業 道路改良工事請負契約の

締結については、高森あかり保育園の開設に伴い、南信州フルーツラインの牛牧南交差点改良を今月から着手するため、受注希望型一般競争入札を 11 月 21 日に行い、仮契約を締結したので、承認を求めるものです。

議案第 81 号 令和 4 年度高森町一般会計補正予算（第 5 号）は、歳入歳出にそれぞれ 40,007 千円を追加し、総額を 7,771,341 千円とします。

全体では、人事院等の勧告に伴う一般職と特別職の職員給与の改定増額と、7 か月余を経過した執行実績に基づき、過不足を補う内容です。

主な事項としては、昨今の物価高騰により役場をはじめ公共施設の電気料が大幅に不足するため合計 15,000 千円程度を増額します。また、年末年始の帰省や介護・医療等従事者の感染拡大防止に対応する新型コロナ検査費用助成に 9,100 千円、医療機関の負担低減に資する受診前自己検査キット確保に 4,697 千円をそれぞれ追加します。また、長引く物価高騰の対策として事業者向け第 2 弾の支援金 18,804 千円を増額します。

議案第 82 号から議案第 87 号までの特別会計の補正予算は、職員人件費及び現時点で必要な予算を措置するもので、詳細については、それぞれ担当課長が説明します。

議員各位並びに町民の皆さまのご理解をお願い申し上げますとともに、提案いたしました議案について、適切な決定を賜りますようお願い申し上げ、あいさつとします。